

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和4年6月1日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 石じまきよし

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>公共施設の光熱費削減について</p> <p>市は円安や原油等価格の高騰により入札で予定していた金額で電力供給契約を締結できず、電力の安定的な確保とカーボンニュートラル推進のため、CO2フリーの電力を購入することを決定した。これにより不足する光熱費について、先の5月臨時会で5,500万円増額の補正予算を可決したところである。</p> <p>特に、スポーツの杜及び市民野球場は、電力消費量の多い照明設備があり、また、令和5年度から指定管理者制度が導入されることから、指定管理者の負担にもなるため、その割り増し分が市民の施設利用料金に上乗せされることが懸念される。</p> <p>そこで以下、2点について伺う。</p> <p>(1) 将来の光熱費負担を軽減するためには、スピード感を持って取り組んだ方が効果的なので、令和3年3月に策定した本市の「公共施設個別施設計画」のスケジュールを前倒しして、改修できるところから取り組んでいかないか。</p> <p>(2) まずは、スポーツの杜及び市民野球場は、早期にLED化に着手し、ランニングコストの削減を進めないか。</p>	

長久手市中期財政計画について

2

令和4年3月に策定された計画において、「本市の人口推計では、令和17年まで総人口の増加が見込まれており、高齢化の進行と合わせて行政需要の増加が見込まれます。一方で、生産年齢人口の増加は令和7年までと見込まれており、歳入の根幹である市税の増加の鈍化が想定されます。歳入歳出における財政規模の増加傾向は、今後もしばらく継続するものと考えられますが、歳入の確保が課題となります。」と記載されている。

続いて、市税の確保の項目では、「魅力あるまちづくりを進めることで、流入人口の確保などに努めます。」と記載されている。

生産年齢人口の中核を担う子育て世代の需要に対応する、よりきめ細やかな支援の充実を図ることが、魅力あるまちづくりを進める上で重要と考えるが、これからどのように「魅力あるまちづくり」を進めていくのか。